

学位論文評価基準

鈴鹿大学大学院国際学研究科 学位授与の判定基準及び学位論文の評価基準

鈴鹿大学大学院国際学研究科では、次の判定基準に基づいて修士の学位審査を行い、適当と認められる者に対して、修士（国際学）の学位を授与する。

1. 修士の学位を受ける者は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、当該専門分野における研究能力及び高度な専門的能力を身につけていること、さらに幅広い教養と総合的な判断力を有していること。
2. 修士論文は、次に定める「学位論文の評価基準」に基づき評価を受けることとし、修士の学位を受ける者は、当該専門分野の発表会・審査委員会で学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明解に応答すること。
3. 修士学位論文の提出の手続きについては、別に定める。

論文の評価基準

1. 開設科目の履修を通じて、幅広い学識とともに、自らの研究課題について国際的な視野の下に多様な視点からの専門的知識を身につけているか。（専門的知識・技能）
2. 現代の国際社会・地域社会が当面する諸問題の所在を把握し、その背景・原因を分析し、その解決策を考察しているか。（課題発見・解決能力）
3. 講義・演習等の授業だけでなく、文献資料調査、フィールドワーク、実務研修など多様な経路から必要な情報と知見を収集し、それらを自分の課題関心から系統的に精査・分析・整理・咀嚼して、自己の課題関心を絶えず再検証していく力を身につけているか。（実践力）
4. 自らの研究課題について、先行研究や関連する知見を渉猟しつつ、必要な情報を収集・検証したうえで、平明な文章で構成された論理的かつ明快な修士論文若しくはそれに代わる研究成果に表現できる技能を身につけているか。（コミュニケーション力）